

ちょこつとマーケット

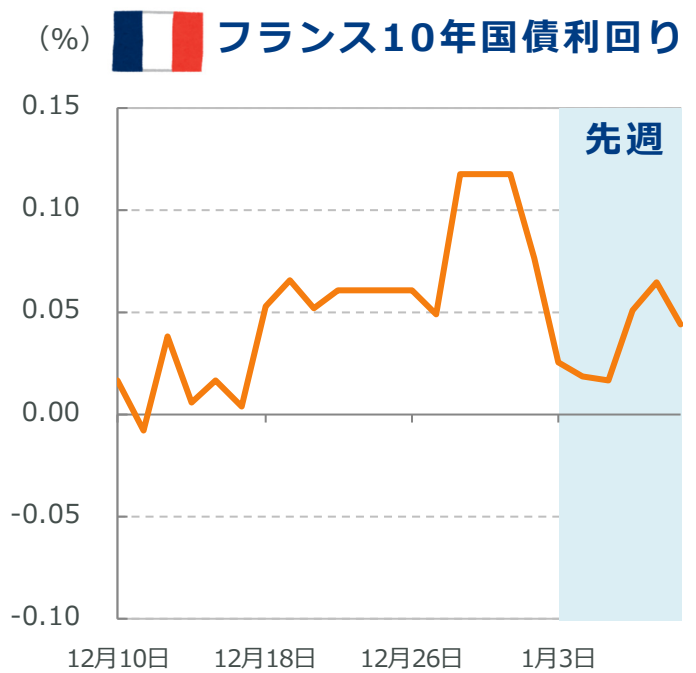
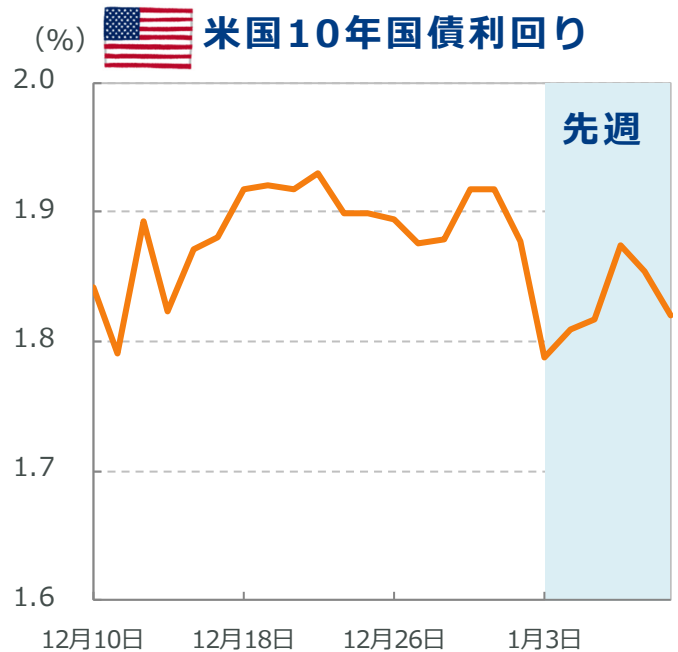
(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

【2020年1月6日～2020年1月10日】

国債売られ利回り上昇

◆米国とイランの軍事的衝突を巡り、トランプ米大統領が声明で「イランは行動を抑制しているようだ」と発言したことを受けて中東情勢に対する緊張が和らぎ、米国株が最高値圏に上昇し、国債は売りが進みました（利回りは上昇）。



(注) データは2019年12月10日から2020年1月10日（日次）。
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ちよコツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

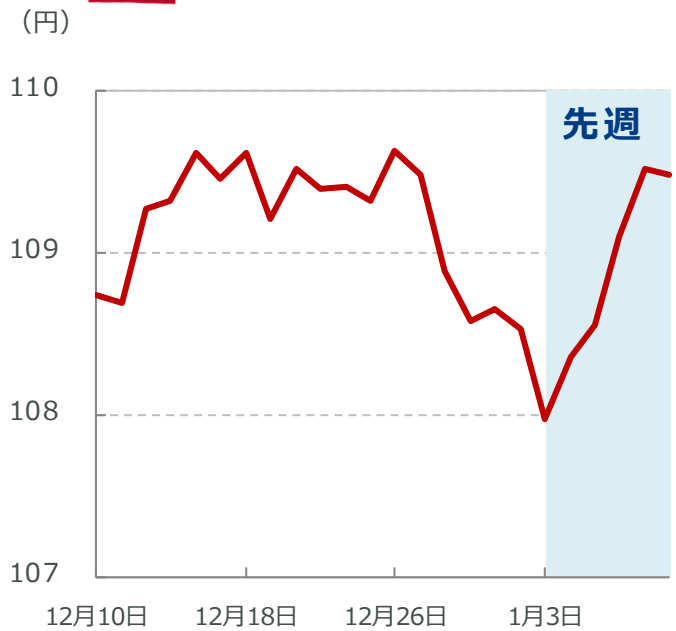
POINT  **為替**

【2020年1月6日～2020年1月10日】

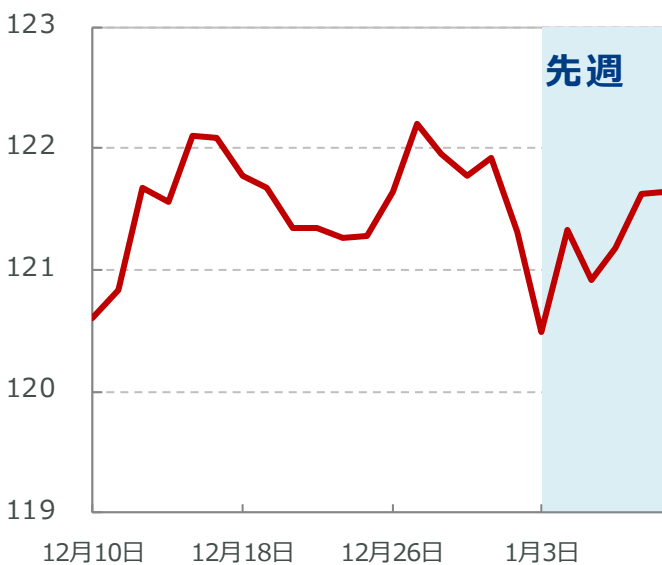
円の売りが進む

- ◆ 米国とイランの軍事的衝突や米中通商協議をめぐる懸念が一旦後退したことなどを背景に、円は対主要通貨で売られ、一時1米ドル=109円台後半まで下落しました。
- ◆ 一方、10日発表の2019年12月米雇用統計で雇用者数の伸びが鈍化したことなどをを受けて、円が対米ドルでやや戻す場面がありました。

 **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



(注) データは2019年12月10日から2020年1月10日(日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成